

令和4年度 自己評価公表シート

令和5年3月31日
遊学舎 芳華こども園

1. 本園の教育及び保育の目標

- 1. 子どもが現在を最もよく生き望ましい未来をつくり出す力の基礎を養う。
- 2. 養護と教育が一体となって豊かな人間性を持った子どもを育成する。

2. 本園の教育方針

- ・大自然の中で遊びに学び様々な体験を通し、生きる力を育てます。
- ・地域や保護者様との信頼関係を築き、喜びを感じながら子育てを共に行います。
- ・研修や自己研鑽に励み常に自らの専門性を高め、法人職員としての責務を果たします。

3. 本年度、重点的に取り組むことが必要な目標や計画を基に設定した学校評価の具体的な目標や計画

- 教育・保育の全体的計画、指導...個人の発達や家庭での現状に応じた教育保育を行う。チーム保育による保育教諭の連携。異年齢保育の取り組み。
- 保健管理...園児の健康診断の実施(年2回)、日々の健康観察。
- 資質向上の取組...園外での研修報告。共通認識。職員間の保育についてのグループワーク。
- 子育て支援...地域の子育て支援“ひだまりキッズランド”の実施(うらの森にて)在園児の保護者支援
- 幼保小連携...円滑な連携・接続
- 教育環境...施設設備・遊具や教具の安全点検・環境整備
- 食育の推進...様々な形で食に関わる体験の実施

4. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	結果	取り組み状況
教育・保育の全体的計画、指導	A	子ども達が興味関心のある環境を設定し、主体的に子ども達が環境に関われるように、また、個人の発達に合わせた援助配慮を行なっている。
保健管理	B	学校環境衛生基準定期検査の実施。園医検診、歯科検診、尿検査を年2回実施する。園児の受け入れ時、日中の健康観察を行い、保護者と連携をとる。
資質向上の取組	B	園外の研修報告を回覧し、職員に周知徹底を図る。また、園内での公開保育を行い、各クラスの子どもの成長や育ちを5領域、10の姿から切り取ったり、保育者の援助配慮などの良い部分を見つけ、認め合う機会を持つ。

子育て支援	B	未就園児対象のひだまりキッズランドでは、ママ友ができ、悩みを共有し、子育てする保護者にとっての憩いの場となっている。コロナ禍の為、保護者の方が園での子ども達の育ちや保育の内容を十分に理解することが難しいと感じた。
幼保小連携	B	小学校へあがる園児の心の内を聞き、喜びの半面、不安があることがわかった。見通しが持てるように、小学校の見学を数回することができた。
教育環境	A	施設設備、遊具点検を定期的に行い、安全に遊べる環境づくりに取り組んでいる。
食育の推進	B	コロナ禍でクッキングなどの実施が少なかった。毎年取り組んでいる行事では、もち米の田植え、稲刈り、餅つきを実施し、子ども達が体験をすることができた。

5. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	“遊びに学ぶ”を保育理念にかかげ、子どもたちが生きる力の基礎を培うために、主体的に遊べる環境を作ってきた。試行錯誤しながら最後までやり遂げたり、情報を得るために調べたり、友だちと協力をしたりなどの“幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿”を意識して教育・保育をするように努力している。また、保育者は一人一人の子どもに寄り添い、それぞれに合った援助配慮を行い、子ども達の育ちにつなげている。

6. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
子育て支援	園での子ども達の様子をドキュメンテーション(写真や映像)で伝えることで、園への理解を深めてもらい、自分の子育てを支えたり参考にしてもらうことで保護者の子育てを支えたり、励ましたりする支援ができるようにしたい。

食育の推進	コロナ禍が明け、食育の推進に力を入れたい。それぞれのクラスで子どもの育ちでやりたい食育やクッキングの計画を立て、計画を立てていく。食を営む力を育てていきたい。

◎「4, 5」の評価結果の表示方法

A	十分に達成されている
B	達成されている
C	とりくまれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である